



十六銀行

十六アジアレポート 2020年9月号

JUROKU ASIA REPORT SEPTEMBER 2020

2020年9月1日 発行

十六銀行 法人営業部 海外サポート室

目次

1. シンガポール:「ナショナルデー2020を転機に」
シンガポール駐在員事務所 富田邦裕
2. タイ:「『U字回復』が期待されるタイ経済」
バンコク駐在員事務所 堀江幸康
3. 上海:「中国における中秋節と月餅」
上海駐在員事務所 村瀬範晃
4. ベトナム:「コロナ禍でのベトナム入国 ～ハロン湾を望むホテルでの14日隔離生活～」
ベトナム投資開発銀行 ジャパンデスク 川島宏保
5. 為替相場情報

本書中の情報は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては全てお客様御自身でご判断くださいますよう、宜しくお願ひ申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行及び執筆者はその正確性を保証するものではありません。また、本書中の情報は、法律上、会計上、税務上の助言を含むものではありません。法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談ください。

1. シンガポール:「ナショナルデー2020を転機に」

シンガポール駐在員事務所 富田邦裕

8月9日、シンガポールでは建国55周年を迎えました。街中では赤色の服を着た多くの人とすれ違ったほか、国民が住む各公営住宅のベランダにもシンガポール国旗がずらりと並び、赤と白で染まっています。シンガポールを代表する建造物でも国旗カラーでライトアップされており、この時期の風物詩となっています。

歴史を辿るとシンガポールは、1963年にマレーシア連邦の一員になりましたが、わずか2年後の1965年にマレー人と華人の対立を背景に連邦から分離して独立国家となりました。当時天然資源がないこの小さな島国が独立国家として発展していく可能性は低いと考えられていましたが、その後初代首相リー・クワンユー氏率いる強い政府と外需依存の経済開発により、今では東南アジアで最も目を見張る豊かさを実現した国となっています。そのようなルーツがあるからこそ国民の結束は強く、例年ナショナルデーは盛大なパレードでお祝います。

しかし今年は新型コロナ禍にあり、人が集まる大型のイベント会場は使われず、行事は規模を縮小のうえ各地に分散されました。それでもコロナに携わる医療従事者への敬意を示すため複数の病院の上空を隊列飛行した空軍戦闘機や、島内を行進した戦車隊を目の前で見る事ができ、大変迫力がありました。

コロナについては、感染拡大の原因となった外国人建設作業員が集団生活するドミトリーにおいて、全入居者に対する検査が8月上旬に終了しており、現在新規感染者数は落ち着き始めました。政府は打撃を受けている観光業を中心とした国内経済を立て直すため、短期渡航における制限緩和も発表しています。9月からニュージーランドとブルネイからの入国者には、観光客を含めて14日間の隔離措置を免除するほか、感染リスクが比較的低い6か国・地域（ビクトリア州を除くオーストラリア、マレーシア、ベトナム、中国、マカオ、台湾）からの渡航者については隔離期間を14→7日間へ短縮するとしています。

日本とシンガポールも、9月にビジネス目的に限定した短期出張者の往来再開を目指しています。日本が新型コロナ後に短期出張者向けの往来の再開で他国と合意したのは初めてであり、ビジネスパートナーとしての重要性を感じました。依然として大規模な商談会は人数制限により開催が見通せず、秋に予定していた日本食品総合見本市“Food Japan 2020”は、来年へ延期となりましたが、今後オンラインでの実施も期待されています。現在、多くの人々が在宅勤務を強いられており、経済も低迷しておりますが、ナショナルデーを転機として、活況がいろいろ見えてきたように感じます。



【国旗カラーでライトアップされたナショナルギャラリー】



【マリナ湾を起点に島内を回る国旗儀礼飛行（中心部）】



【政府が新型コロナによる入国規制を徐々に緩和しており、外国人入国者数がやや回復している（チャンギ空港にて）】

2. タイ:『U字回復』が期待されるタイ経済

バンコク駐在員事務所 堀江幸康

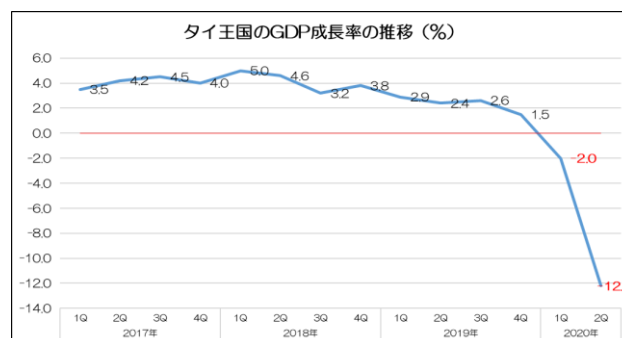
タイ国家経済社会開発委員会 (NESDC) が 8 月 17 日に発表した 2020 年第 2 四半期の国内総生産 (GDP、速報値) は、前年同期比 ▲12.2% と大幅なマイナス成長となりました。二桁のマイナスを記録するのは、アジア通貨危機の影響を受けて ▲12.5% のマイナス成長となった 1998 年の第 2 四半期以来 22 年ぶりのことで、今回のコロナ禍がタイ経済へ与えるインパクトは、アジア通貨危機と同等かそれ以上のものになるのではないかと懸念されています。同時に、通年の見通しについては、5 月の発表から下方修正され、▲7.8%～▲7.3% になることが示されました。

タイの主な経済指標 (単位: %、前年比、▲はマイナス値、※は速報値)

	2017年	2018年	2019年				2020年		2020年 予測値	
	Year	Year	Year	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		2Q(※)
GDP成長率	4.1	4.2	2.4	2.9	2.4	2.6	1.5	▲2.0	▲12.2	▲7.8-▲7.3
投資伸び率	1.8	3.8	2.1	3.2	1.9	2.7	0.8	▲6.5	▲8.0	▲5.8
内、民間投資	2.9	4.1	2.8	4.3	2.1	2.3	2.6	▲5.4	▲15.0	▲10.2
内、政府投資 (公共投資)	▲1.4	2.9	0.2	0.0	1.5	3.7	▲5.1	▲9.3	12.5	8.6
民間消費支出伸び率	3.1	4.6	4.5	4.8	4.7	4.3	4.1	2.7	▲6.6	▲3.1
政府消費支出伸び率	0.1	2.6	1.4	3.5	1.5	1.7	▲0.9	▲2.8	1.4	3.6
輸出伸び率	5.2	3.3	▲2.6	▲3.5	▲4.0	0.6	▲3.4	▲7.3	▲28.3	▲20.9
消費者物価上昇率	0.7	1.1	0.7	0.7	1.1	0.6	0.4	0.4	▲2.7	▲1.2-▲0.7

(出所) NESDC統計より十六銀行バンコク駐在員事務所が作成

タイ経済の失速の主な要因として、コロナ禍によって、輸出と観光業が停滞したことが挙げられます。観光業については特に深刻で、国際航空運送協会 (IATA) によれば、世界的な航空旅客の往来について、2024 年までは新型コロナウイルスの感染拡大前の水準に戻らない可能性もあると警告されています。



(出所) NESDC 統計より十六銀行バンコク駐在員事務所が作成

■付加価値を生み出せる「ものづくり」に活路を。

しかしながら、タイ王国の輸出を支えている「ものづくり」は回復に向けて力強く動き始めています。多くのお取引先さまから「4~6月で底を打ち、少しずつ数字が戻ってきている。」との明るい反応が得られるようになってきました。タイ王国は、アジア通貨危機の辛い経験を経て、その苦難を乗り越え、地道な経済成長を続けてきました。現在、タイ王国は東南アジアにおける「ものづくり」の中心地としての立場を確立し、付加価値を生み出すことのできる国へと成長しました。

また、輸出のみに頼っていた約 20 年前とは全く違う姿に変貌を遂げています。2019 年のタイ国内での新車販売台数 (100 万 7,552 台) は輸出台数 (105 万 4,103 台) とほぼ同等の水準に達しており、国内のマーケットも順調に大きくなってきていることが窺えます。

■着実な「U字回復」を果たすことを期待。

今年の GDP 成長率については良くない見通しが示されていますが、それとは対照的に、来年については楽観的なものが増えてきています。世界銀行はタイ王国の 2021 年の GDP 成長率を 4.1% と予想しています。一気に景気の揺り戻しが来るような「V字回復」は難しいのかもしれませんが、横這いの時期が長く、上昇カーブも緩やかな「U字回復」であれば、実現の可能性が高いのではないかと考えています。タイ経済が着実に「U字回復」を果たすことを期待しています。

3. 上海:「中国における中秋節と月餅」

上海駐在員事務所 村瀬範晃

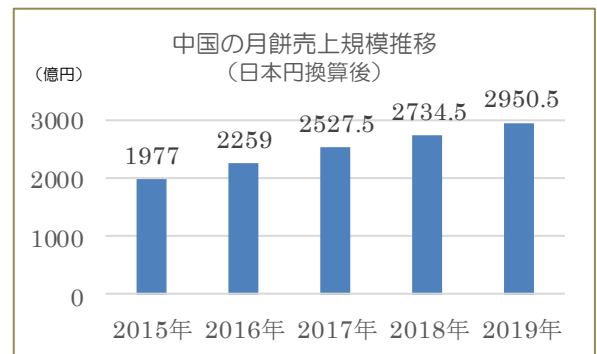
まもなく中国の三大伝統行事のひとつ「中秋節」がやってきます。「中秋節」は旧暦8月15日で、陽暦では毎年いつになるのかが変わり、2020年は10月1日にあたります。この日は満月を眺め、家族そろって「月餅」を食べるのが中国の長い伝統です。日本では年中見かける月餅ですが中国においては季節商品であり、今年も中秋節に向けて月餅が店頭に並ぶようになります。そこで今回は中国における中秋節と月餅についてご紹介したいと思います。

■中秋節と月餅の由来

中秋節のはじまりは、中国の王朝のひとつである唐朝（618年～907年）と言われています。この頃はまだ習俗として定着していませんでしたが、宋朝（960年～1279年）頃からお月見が流行し、月の神を祭る供え物として月餅が供えられ祭日として祝うようになりました。その後、明朝（1364年～1683年）以降、中秋節に月餅を食べることが全国的な習慣となり、各地の食習慣と融合していろいろな月餅が生まれました。

■拡大する月餅市場

中国の消費者の生活が向上するにつれて、中国の「月餅」市場の規模は年々拡大しています。大手リサーチ会社である艾媒咨询のデータによると、中国の月餅は2019年に13.8億個を販売し、売上規模は196.7億元（約2,950.5億円）に達しており、今後も市場規模の拡大が見込まれています。



【出所：艾媒咨询】

■贈り物としても重要な月餅

中秋節の日に家族そろって月餅を食べることも大事ですが、中国社会において同じくらい大事なものは、ふだんお世話になっている取引先や上司などに中秋節の前に月餅を持って挨拶に伺うことです。中国においては、ものを贈る場合は高価なものを贈ることが相手への尊重を表すため、デパートの店頭では高いものになると660元程（約1万円）の商品も並んでいます。

一方でこのところの中国においては、特に若者を中心に変化の兆しが見られ、月餅の種類も伝統的な味の高糖・高カロリーなものから、健康的で低糖なものへと変わりつつあります。更に、スターバックスやハーゲンダッツ等、海外のブランド食品メーカーも月餅市場に参入し洋モノ月餅も登場するようになりました。



【スターバックスで販売されているオリジナル月餅】

■所見

新型コロナウイルスの影響により、中国においても様々な分野で変化が起こっています。月餅商戦においても、これまではオフラインでの消費が圧倒的に多かったものが今年はオンラインの比率が大幅に高まるとも言われており、オンラインとオフラインが相まった消費の回復が期待されています。

4. ベトナム:「コロナ禍でのベトナム入国

～ハロン湾を望むホテルでの 14 日隔離生活～

ベトナム投資開発銀行 ジャパンデスク 川島宏保

私は8月20日に、成田空港発バンドン空港（ベトナムクアンニン省）行きの飛行機でベトナムへ入国し、その日からベトナム屈指の世界遺産「ハロン湾」近くのホテルで、14日間の隔離生活を送っています。日越両国においてコロナウイルス第2波の脅威が続く中での渡航について、本当に多くの方々の理解とサポートによって実現したものと感謝しています。

私自身、異国の地でこのような時間を過ごすことは、とても貴重な体験であると思っております。そこで今回は、渡航の様子や実際の隔離生活について、一部ご紹介したいと思います。

■厳格な検査体制・感染対策について

今回の渡航では、日本側でPCR検査を受け、コロナウイルスの「陰性証明書」取得が必要でした。ベトナム入国の翌日にも、再度客室でPCR検査を受け、「陰性」であることが確認されました。また、少し先のこととなりますが、隔離を終え、客室を出る直前にも検査が行われるといった徹底ぶりです。私は今年4月に日本へ帰国した際にも同検査を受けていますので、計4回の検査を受けることとなります（鼻からの検査は何回やっても慣れそうにありません）。なお、入国規制下で入国した外国人にとって「陰性証明書」はとても重要なことです。



テレビのニュース映像でも一部流れていた通り、旅客機搭乗からホテル到着までは青い防護服を着用、全ての手荷物に消毒液がかけられるなど、まさに可能な感染対策を徹底している印象を受けました。（右上写真の通り、防護服は靴の上からも着用します。）

■隔離生活について

隔離体制はやはり非常に厳格で、自身の客室から一步も外に出ることは出来ません。プール、ジム、バーといった施設の利用などもってのほかです。1日三食の食事は、定時になると客室扉前のイスに弁当が置かれ、食べ終わった空の容器をイスの上に戻す「配給スタイル」です。

衣類のランドリーサービスも同様です。唯一毎日朝夕の検温、隔日毎の客室清掃時には人の姿を目にすること出来ますが、当然スタッフは皆マスク、防護服をフル装備です。



■今後の情報提供について

今回の体験により、従来通り、自由に日越間を行き来するには時間を要するものと痛感しました。引き続き現地でベトナム入国規制に関する情報を収集し、皆さまへ発信出来るよう努めてまいります。

5. 為替相場情報

(1) 人民元一円為替相場(中国人民銀行公表仲値)

(単位:1人民元当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
7月27日	15.15772	7月28日	15.08045	7月29日	15.01817	7月30日	15.02449	7月31日	14.98666
8月3日	15.12447	8月4日	15.19549	8月5日	15.16001	8月6日	15.20843	8月7日	15.20519
8月10日	15.20034	8月11日	15.20728	8月12日	15.30573	8月13日	15.39219	8月14日	15.41355
8月17日	15.36405	8月18日	15.29333	8月19日	15.23020	8月20日	15.30643	8月21日	15.30175

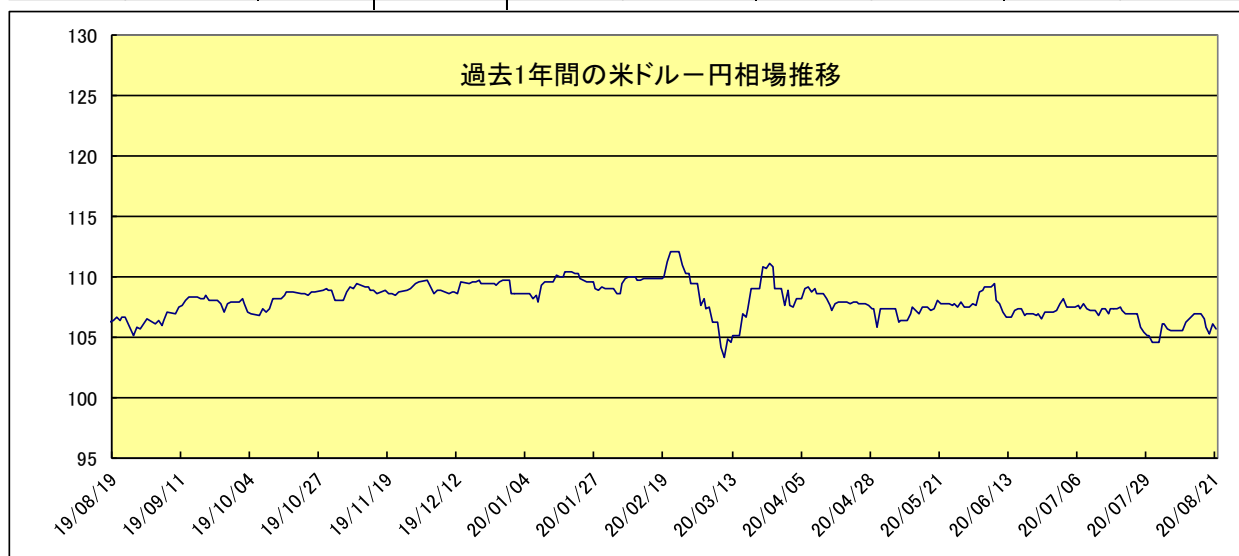


上記表、及びグラフはこの公表仲値を便宜的に1人民元当たりの日本円へ換算し直した相場です。
そのため、正式な人民元相場が必要な場合は、中国人民銀行にお問い合わせ下さい。

(2) ドルー円為替相場(当行公表仲値)

(単位:1ドル当たりの日本円)

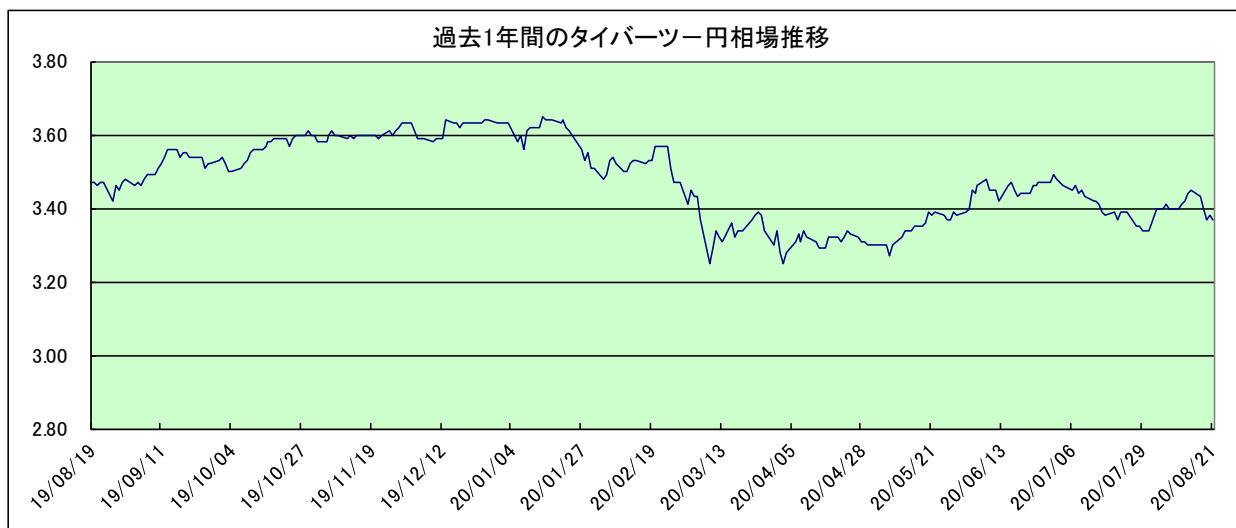
(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
7月27日	105.82	7月28日	105.34	7月29日	105.14	7月30日	105.09	7月31日	104.60
8月3日	106.13	8月4日	106.13	8月5日	105.61	8月6日	105.51	8月7日	105.59
8月10日	-	8月11日	106.17	8月12日	106.57	8月13日	106.71	8月14日	106.98
8月17日	106.55	8月18日	105.82	8月19日	105.19	8月20日	106.09	8月21日	105.70



(3) タイバーツ-円為替相場(当行公表仲値)

(単位: 1バーツ当たりの日本円)

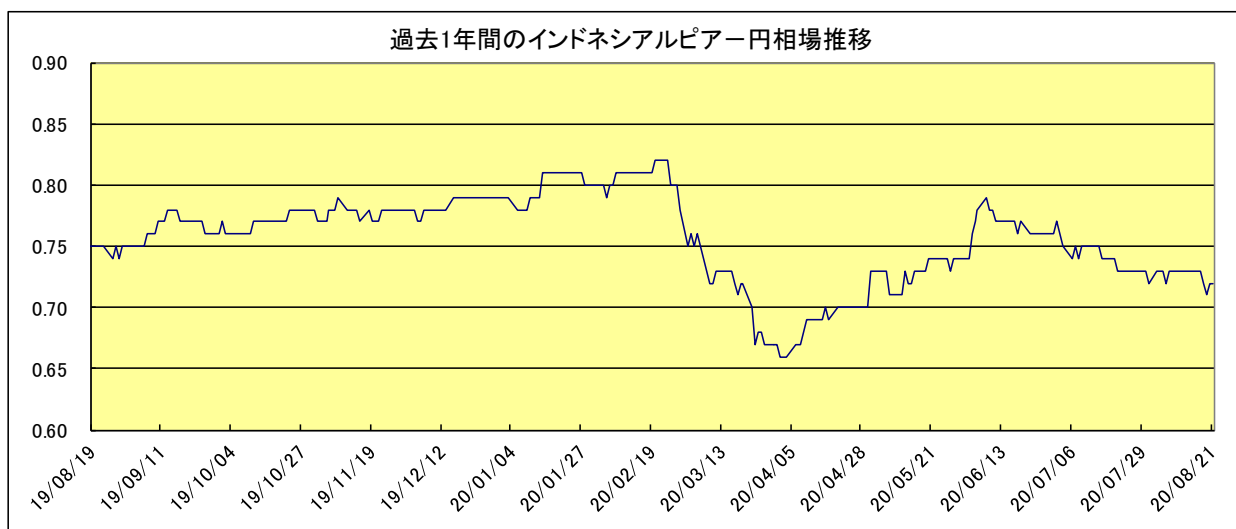
(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
7月27日	3.3500	7月28日	3.3500	7月29日	3.3400	7月30日	3.3400	7月31日	3.3400
8月3日	3.4000	8月4日	3.4000	8月5日	3.4000	8月6日	3.4100	8月7日	3.4000
8月10日	-	8月11日	3.4100	8月12日	3.4200	8月13日	3.4400	8月14日	3.4500
8月17日	3.4300	8月18日	3.4000	8月19日	3.3700	8月20日	3.3800	8月21日	3.3700



(4) インドネシアルピア-円為替相場(参考値)

(単位: 100ルピア当たりの日本円)

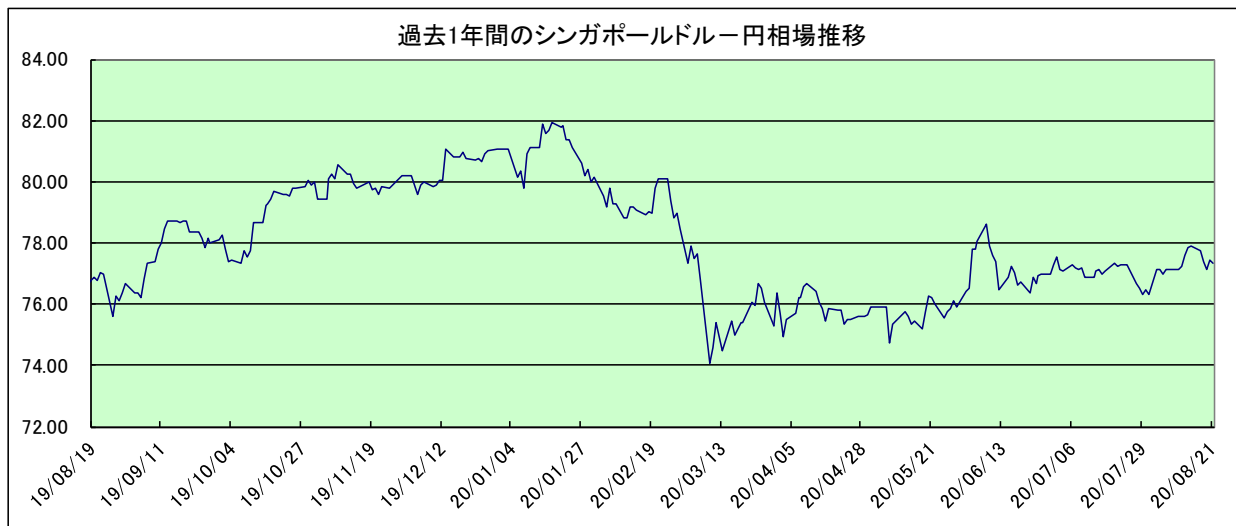
(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
7月27日	0.7300	7月28日	0.7300	7月29日	0.7300	7月30日	0.7300	7月31日	0.7200
8月3日	0.7300	8月4日	0.7300	8月5日	0.7300	8月6日	0.7200	8月7日	0.7300
8月10日	-	8月11日	0.7300	8月12日	0.7300	8月13日	0.7300	8月14日	0.7300
8月17日	0.7300	8月18日	0.7200	8月19日	0.7100	8月20日	0.7200	8月21日	0.7200



(5) シンガポールドル-円為替相場(当行公表仲値)

(単位:1ドル当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
7月27日	76.6500	7月28日	76.5000	7月29日	76.3000	7月30日	76.4800	7月31日	76.2900
8月3日	77.1500	8月4日	77.1200	8月5日	76.9600	8月6日	77.1100	8月7日	77.1500
8月10日	-	8月11日	77.2300	8月12日	77.5700	8月13日	77.8300	8月14日	77.9200
8月17日	77.7700	8月18日	77.4100	8月19日	77.1100	8月20日	77.4500	8月21日	77.3600



(6) ベトナムドン-円為替相場(参考値)

(単位:1000ドン当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
7月27日	4.5600	7月28日	4.5400	7月29日	4.5300	7月30日	4.5300	7月31日	4.5100
8月3日	4.5800	8月4日	4.5800	8月5日	4.5500	8月6日	4.5500	8月7日	4.5500
8月10日	-	8月11日	4.5800	8月12日	4.6000	8月13日	4.6000	8月14日	4.6100
8月17日	4.5900	8月18日	4.5600	8月19日	4.5400	8月20日	4.5700	8月21日	4.5600

